

市立札幌彩輝高等学校の校章について

本校の校章は、市立高等学校、中等教育学校（後期課程）、特別支援学校（高等部）の生徒から募った74点のアイデアを基に、専門家との検討を重ねて誕生しました。

制作にあたって着想の参考にさせていただいたアイデアは、
『“彩”の文字を抽象化したデザイン』、
『挑戦や対話を表す矢印のモチーフ』、
『個性が芽吹き、咲き誇る植物の成長という発想』、
『地域に親しまれる雄大な自然や藻岩山のモチーフ』、
『新しい時代を切り拓き、羅針盤を手にも力強く進む冒険者』、
そして『物事を深く見つめる虫眼鏡の発想』です。

これらの要素を取り入れ、一つの校章として現在の形にまとめ上げました。

この校章は、少し離れて眺めると「彩」の文字に見え、
近くで見ると「矢印・木・山・帆」のモチーフが隠れています。

広い視野で全体を捉えること、
目の前にあるものを細部まで注意深く見ることを何度も繰り返し、
新たな気付きを得ながら探究していくという、
本校が大切にしている学びの姿勢を表現しています。

また、校章の基本カラーは
生徒たちを照らす、太陽・光・エネルギーの意味を持つオレンジ色です。
『どんな個性（色）を持った生徒も、
この温かい光の中でなら、自分らしく輝ける』
という願いが込められています。

市立札幌彩輝高校のシンボルとして、
この校章がこれから多くの皆様に親しまれ、
愛されるものとなることを心より願っています。

市立札幌彩輝高等学校 校章デザイン [2026]



CONCEPT

物事を正しく見つめるためには、鳥の目で森を見ることと、虫の目で木や土を見ること、
そしてそれを何度も繰り返すことが大切であるということ表現している。
鳥の目で森を見ると『彩 - いろどり』という漢字になり、虫の目で見ると木・矢印・山・帆になっていることに気が付く。

COLOR

生徒たちを照らす、太陽・光・エネルギーの意味を持つオレンジ色。
『どんな個性(色)を持った生徒も、この温かい光の中でなら、自分らしく輝ける』という願いが込められている。

市立札幌彩輝高等学校の校章デザインを構成する、5つのキーワード



KEYWORD.01

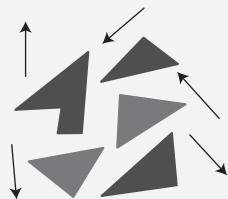
彩

彩

彩輝高校の「彩」という漢字。
対話と挑戦を繰り返すと、
彩り輝く未来を創造することができる。

KEYWORD.02

矢印



いろいろな方向を向いている矢印は
「挑戦」することと、他者や物事、
自分自身との「対話」を意味する。

KEYWORD.03

木



地域や学びからたくさんの光や水を得て
根を張り、太い幹から、
生き生きとした枝と葉が付き、
やがて果実が実る姿。

KEYWORD.04

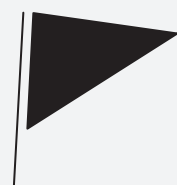
山



「藻岩山」
札幌にとっても、彩輝高校にとっても、
大切な山であり彩輝高校の特徴でもある。

KEYWORD.05

帆



「冒険者」を想起させる帆。
自分の目的地を自分で掲げ、力強く進み、
時に人々を連れて進む姿。
休む時も、現在地の目印となる。